

平成 27 年度

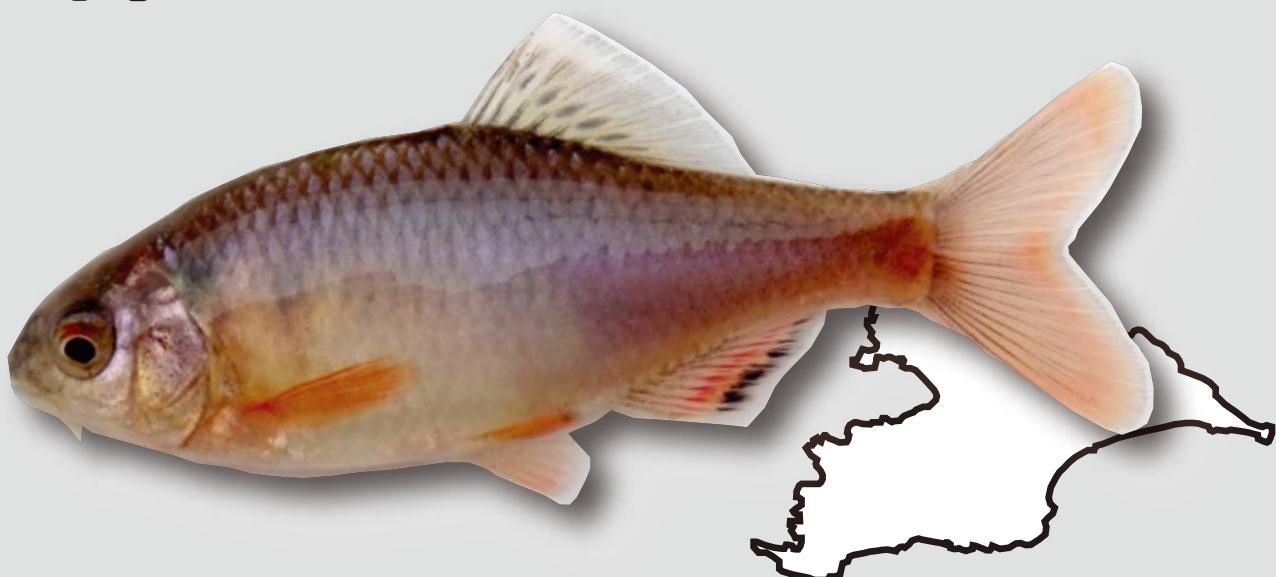
絶滅危惧種

天然記念物

国内希少野生動植物種

ミヤコタナゴ

保全シンポジウム



ミヤコタナゴは、かつては千葉県内に広く生息していた、千葉県を代表するコイ科の淡水魚です。しかし、生息環境の悪化や外来種の影響などにより、現在では絶滅の危機に直面しています。本シンポジウムでは、ミヤコタナゴの魅力と不思議な生態、地域での保全活動等について、写真家、自然保護団体、自治体などの方々から紹介します。そして、千葉県のミヤコタナゴを守るために、参加者の皆さんとその将来像を模索します。

『小さな希少種の未来のために今できること』と一緒に考えてみませんか。

平成 28 年

2/20

(土)

10:00~16:30

入場無料 定員 150 名 (当日受付)

会 場 千葉県立中央博物館 講堂
千葉市中央区青葉町 955-2

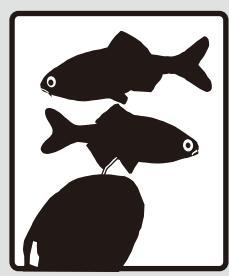
お問い合わせ先

千葉県生物多様性センター

電話 043-265-3601 / FAX 043-265-3615
ウェブページ <http://www.bdcchiba.jp/>

主催 千葉県、環境省

後 援 文化庁、千葉県教育委員会、御宿町、茂原市、いすみ市、勝浦市、日本魚類学会



Chiba Biodiversity Center

●ポスター発表 10:00~16:30 (コアタイムは 10:00~11:30)

千葉県内外でミヤコタナゴをはじめとしたタナゴ類の保全活動や研究に取り組まれている、博物館、水族館、自然保護団体、行政担当者、研究者の皆さんから事例を紹介いただきます。

●シンポジウム 13:00~16:30

13:00～13:10 あいさつ（千葉県・環境省・文化庁）

第一部 「ミヤコタナゴとその保全活動を知る」

13:10~14:15

13:10～13:30 写真で見るタナゴの世界

松沢 陽士 (魚類写真家)

13:30～13:45 地域でミヤコタナゴを守る：文化の日 千葉県功労者表彰を受賞して
伊藤 博明（御宿町ミヤコタナゴ保存会）

13:45～14:00 御宿町におけるミヤコタナゴ保全の取り組み：
平成 26 年度のミヤコタナゴシンポジウム御宿を受けて
松下 泰之（御宿町建設環境課）

14:00～14:15 ミヤコタナゴ生息地における茂原市の取り組みについて
崖波 宗岳（茂原市生涯学習課）

第二部 「国内外における絶滅危惧淡水魚類の保全事例」 14:30～15:20

14:30～14:50 先進事例に学ぶ絶滅危惧種の保全の方向性：
アメリカ合衆国におけるオレゴンチャブの復活とミヤコタナゴへの応用
鈴木 規慈（千葉県生物多様性センター）

14:50～15:20 地域の川での復活を信じて 国指定天然記念物ネコギギ保護増殖事業
後藤 健宏（三重県いなべ市教育委員会生涯学習課）

第三部 「ミヤコタナゴの未来を描く：地域と共に守るミヤコタナゴの生息地」（総合討論）

15:35~16:30

コーディネーター 地域と連携したタナゴ類の生息地保全

／話題提供 北村 淳一（三重県総合博物館・学芸員／主査）

千葉県内の生息地における課題について

望月 賢二（千葉県立中央博物館・元副館長）

●会場 千葉県立中央博物館

電車とバスでお越しの方

東京方面からお越しの方

JR 千葉駅東口の7番乗り場から京成バスの「大学病院」「大学病院・南矢作」行きのいずれかに乗車後、「中央博物館」で下車（約15分）。下車後、徒歩7分。

市原市・茂原市方面からお越しの方

JR 蘇我駅東口の 7 番乗り場から小湊鐵道バス・千葉中央バスの「大学病院」行きに乗車後、「中央博物館」で下車（約 15 分）。下車後、徒歩 7 分。

車でお越しの方

※ 駐車場は有料です。

「県立青葉の森公園北口駐車場」をご利用ください（台数に限りがあります）。

